

ふしぎなよる

原作 ● セルマ・ラーゲルレーヴ
再話 ● 女子パウロ会
絵 ● こいずみ るみこ

原作 ● セルマ・ラーゲルレーヴ

邦題 ● 女子の社会

監 ● こいずみ るみこ

ふしぎなよる



あるクリスマスのばんのこと

おとうさんも おかあさんも きょうかいへ いって
ちいさすぎる わたしと としよりすぎる おばあちゃんと
ふたりは おるすばん。そのとき、おばあちゃんが
わたしに してくれた おはなし。



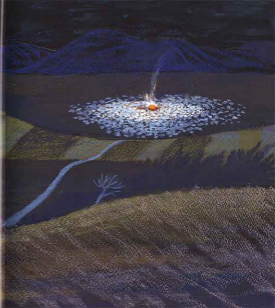


まっくらなぼんね、ひとりのおじさんが
いっけん いっけん いまのときを たたいて
おねがいしていたの。

「ひを ください、おねがいです。いま、あかんぼうが うまれたのです。
ははおやと あかんぼうを あたためてやるために どうか、ひを」
でも、だれも おきてきません。



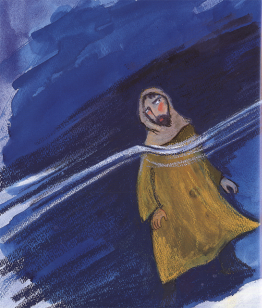
おじさんは とかくの めはらに
ひが ちらちら しているのを みました。
ひの まわりは たくさんの ひつじが ひらり ひらり ころもいで やすんでいて
ひつじがいのおじさんも おなっているようです。





おじさんは こんどこそ ひが もらえると おもって
はしっていくと
ぼんを していた まびきの おおきな いぬが
くわっと まっかや くちを あけて、
いまにも とびかかろうとしました。
でも、そのまま はえもしないし
とびかかる ことも しません。





おじさんは そのまま おびっている ひつじたちの せなかのうえを あるいて
ひに ちかづきました。

きがついた ひつじかいが もっくり おきあがりました。

とても いじわるな ひつじかいだね。

もってた つえを びゅっつと なげつけたの。

どうでしょう、つえは おじさんを きてて きっと よこに とんでいきました。